

須賀川市内の地域経済を支える小規模事業者は、消費者ニーズの変化や需要の低下による売り上げの減少という問題に直面し、経営を持続的に行うためのビジネスモデルの再構築が必要となっている。そこで、伴走型小規模事業者支援推進事業として、同市内の消費者動向調査を行い、小規模事業者を取り巻く環境(消費者ニーズ等)を正確に掴むことを目指す。

収集した情報は事業者に提供するだけでなく、商工会議所としても事業者に対する効果的な支援策の立案に役立てるものである。

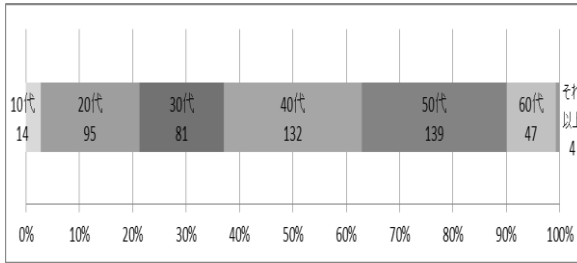
## アンケート調査概要

調査時期	平成29年9月1日～10月31日
調査対象	一般消費者
調査方法	各事業所の従業員に調査票を配布、記入
回答数	515件

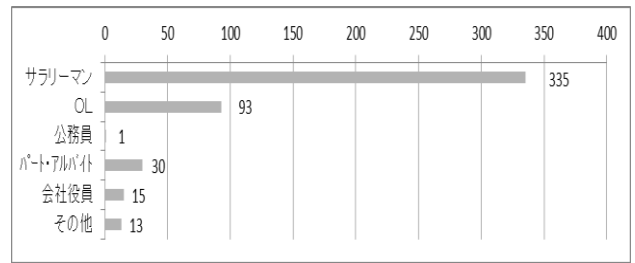
## 基本情報(回答者の属性)

回答者は、須賀川市及び近隣に居住する男女20代～50代の勤め人が中心で、属性に大きな偏りはない。

年齢 (n = 512)



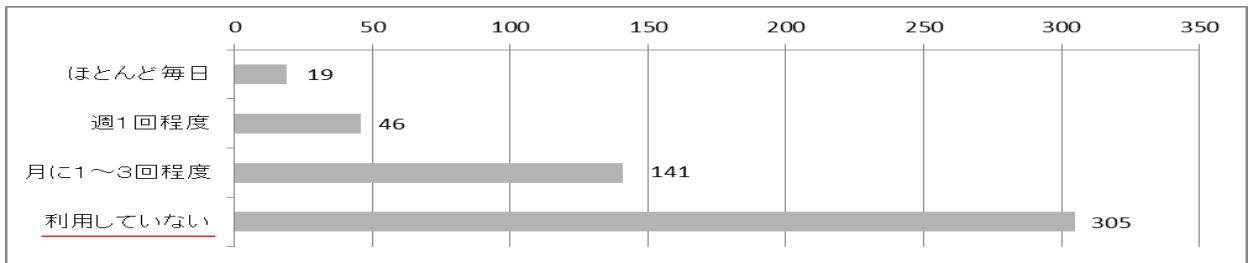
職業 (n = 487)



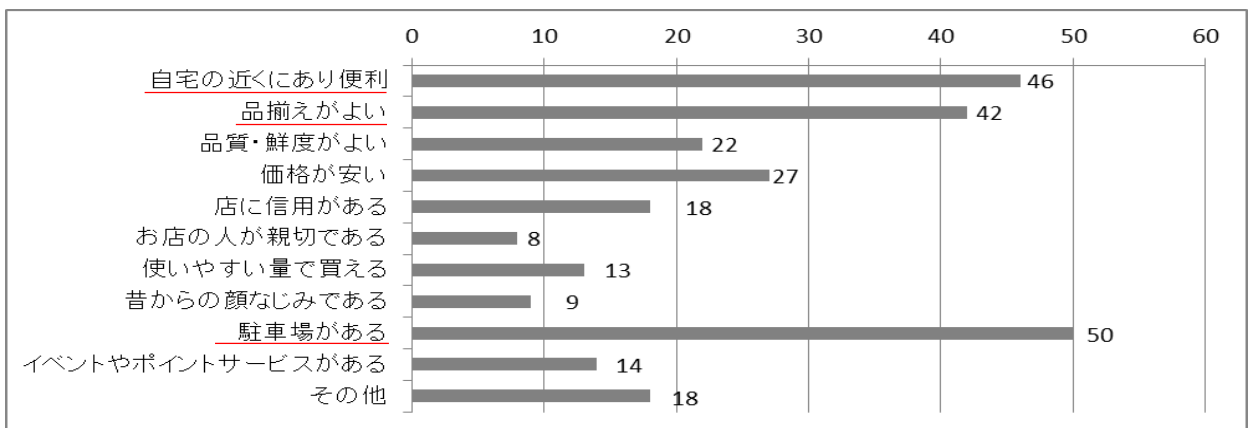
## 2. 中心市街地(須賀川中央商店街および商店街付近のエリア)の利用状況

中心市街地の利用状況では、「利用していない」が305件(59.7%)で最も多い。また、中心市街地で買い物をする理由では、「駐車場がある」が50件(18.7%)で最も多く、「自宅の近くにあり便利」46件(17.3%)、「品揃えがよい」42件(15.8%)と続く。

### (1) 中心市街地の利用状況(直近1ヶ月) (n = 511)

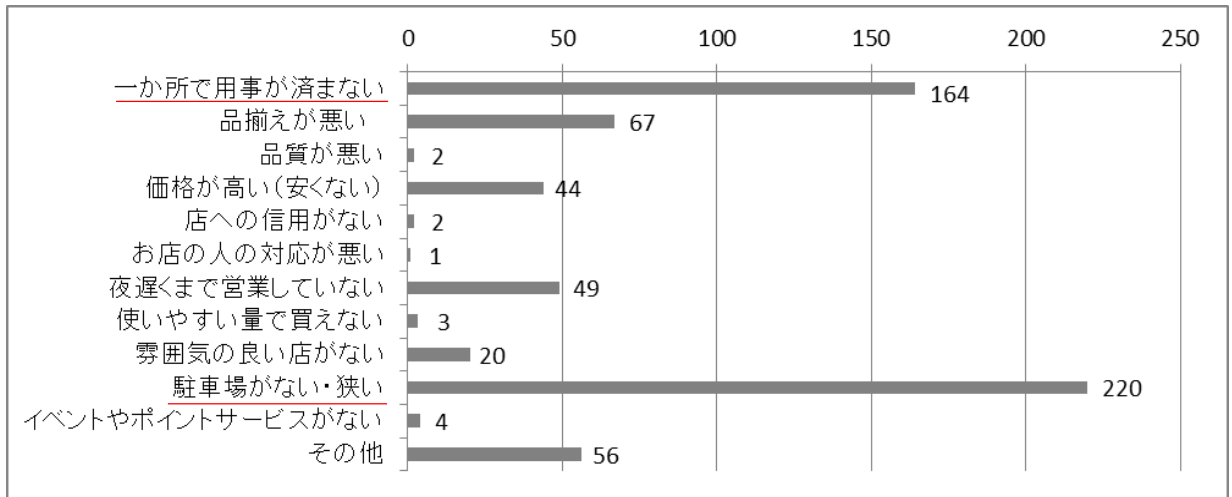


### (2) 中心市街地で買い物をする理由 (n = 267) ※複数回答可

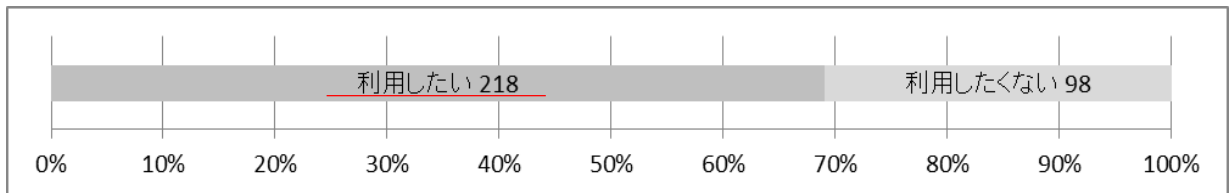


中心市街地で買い物をしない理由では、「駐車場がない・狭い」が220件(34.8%)で最も多い。その後、「一か所で用事が済まない」164件(25.9%)と続く。一方で、この理由が改善した場合、「利用したい」が218件(69.0%)と多い。

### (3) 中心市街地で買い物をしない理由 (n = 632) ※複数回答可



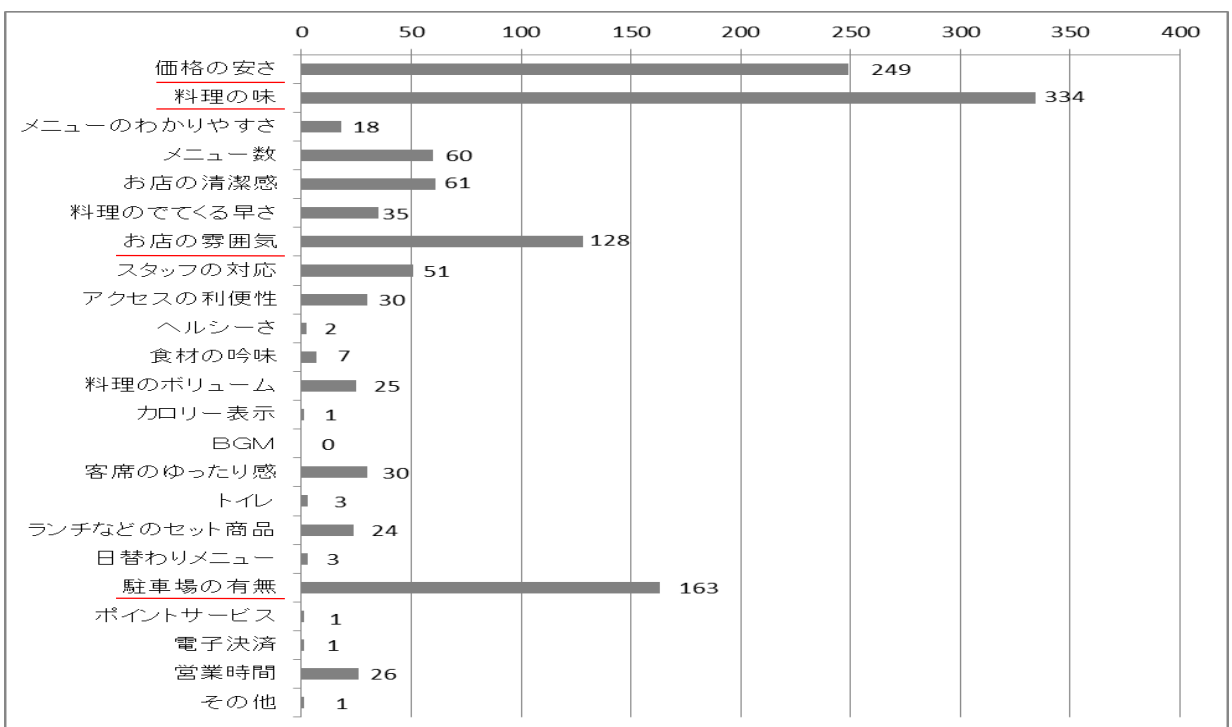
### (4) 「(3)」の理由が改善した場合、買い物に利用したいか (n = 316) ※複数回答可



## 3. 業態ごとの調査

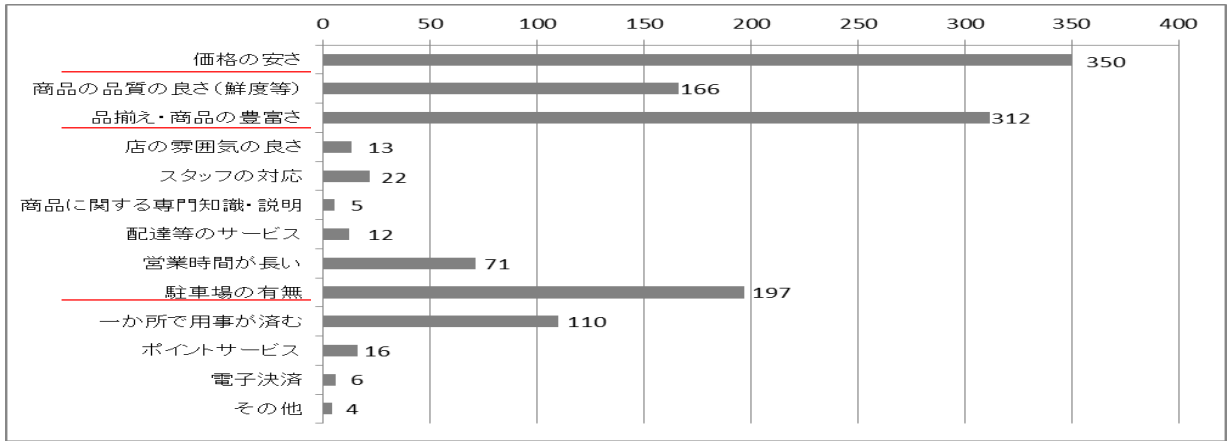
飲食店で重視する点では、「料理の味」が334件(26.7%)で最も多い。その後、「料理の安さ」249件(19.9%)、「駐車場の有無」163件(13.0%)、「お店の雰囲気」128件(10.2%)と続く。

### (1) 飲食店で重視する点 (n = 1,253) ※複数回答可



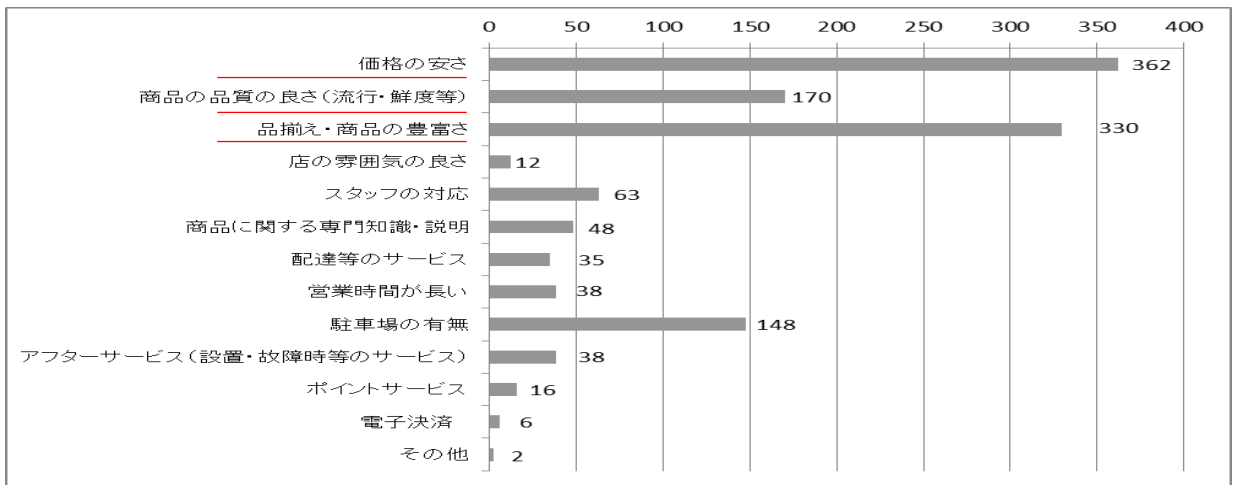
食料品・日用品・生活雑貨の買い物で重視する点では、「価格の安さ」が350件(27.3%)で最も多い。その後、「品揃え・商品の豊富さ」312件(24.3%)、「駐車場の有無」197件(15.4%)と続く。

(2)食料品・日用品・生活雑貨の買い物で重視する点 (n = 542) ※複数回答可



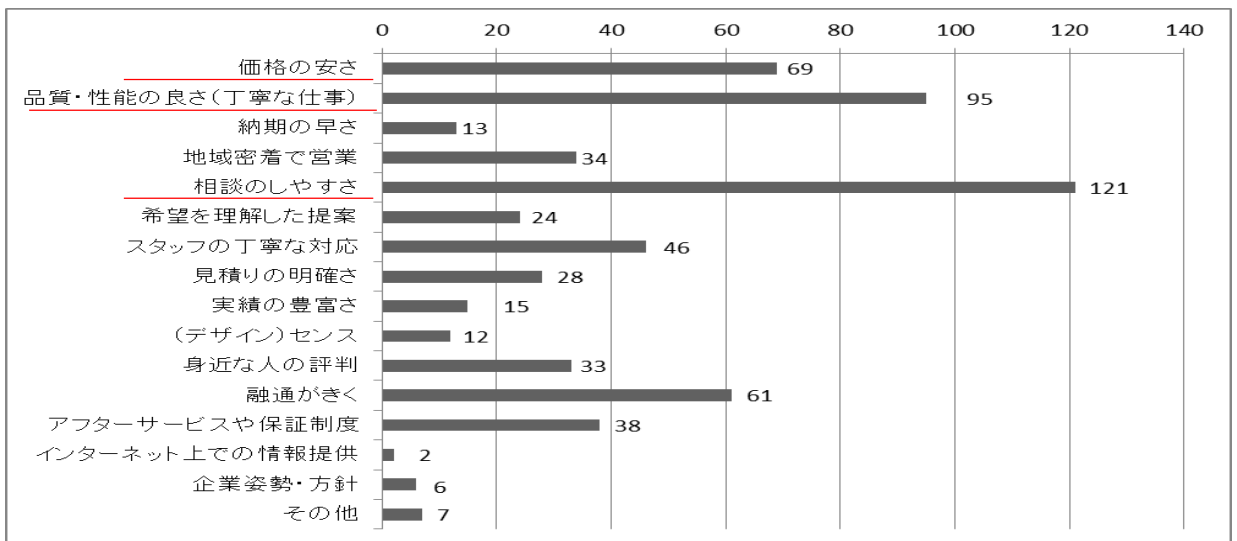
家電製品・衣料品・家具の買い物で重視する点では、「価格の安さ」が362件(28.5%)で最も多い。その後、「品揃え・商品の豊富さ」330件(26.0%)、「商品の品質の良さ」170件(13.4%)が続く。

(3)家電製品・衣料品・家具の買い物で重視する点 (n = 1,268) ※複数回答可



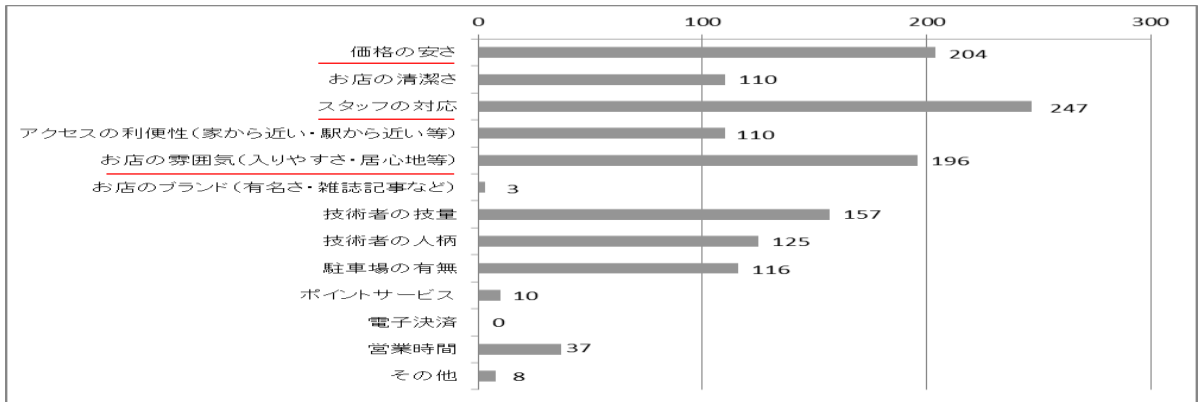
住まいに関する工事「地元の業者」に依頼する際に重視する点では、「相談のしやすさ」が121件(20.0%)で最も多い。その後、「品質・性能の良さ」95件(15.7%)、「価格の安さ」69件(11.4%)と続く。

(4)住まいに関する工事「地元の業者」に依頼する際に重視する点 (n = 604) ※複数回答可



理美容店で重視する点では、「スタッフの対応」が247件(18.7%)と最も多い。その後、「価格の安さ」204件(15.4%)、「お店の雰囲気」196件(14.8%)と続く。

#### (5) 理美容店で重視する点 (n = 1,323) ※複数回答可



## 4. その他、須賀川市内の買い物環境について、ご意見・ご要望

須賀川市内の買い物環境についてのご意見・ご要望を解析した所、駐車場の利用に関するご意見・ご要望が特に多い結果であった。一方で、中心市街地の活性化に関するご意見・ご要望もあり、対策を検討する必要がある。

### (1) ご意見・ご要望 (※原文のまま任意抜粋)

- ・須賀川の商店街を利用したくても、駐車場が有料になってしまったり、とても狭かったりして、わざわざ須賀川ではなくても良いかなと思ってしまいます。とくに、市役所の駐車場が有料になってしまった事が残念です
- ・市役所の駐車料金を昼間上限1000円、夜間上限1000円などにし、商店街で買い物をすると無料とすればもっと利用者が増えるのではないだろうか
- ・若い世代は、スマホ・インターネットによる購入が多いと考えられ、市内業者の方もそれを意識したサービスを展開すべきではないか。
- ・中心市街地にもっといいお店が入れば、活気が溢れると思います。市役所の駐車場を、市民が使いやすくすればもっと人が集まると思う。沢山、素敵なお店、イベントがあるのでアピール等期待しています。

### (2) 記述内容の解析結果

名詞	スコア	出現頻度	動詞	スコア	出現頻度	形容詞	スコア	出現頻度
駐車場	70.68	42	思う	0.19	18	ほしい	3.18	25
市役所	24.32	14	行く	0.16	13	良い	0.13	9
利用	1.08	12	しまう	0.25	12	多い	0.15	7
大型	5.10	11	できる	0.06	8	広い	0.58	4
駐車	16.53	11	増やす	0.21	4	やすい	0.10	4
買い物	2.11	9	作る	0.04	4	いい	0.01	4
有料	2.44	8	考える	0.04	4	少ない	0.10	3
市内	2.62	6	増える	0.10	4	難しい	0.08	3

※解析結果は「User Local テキストマイニングツール」にて作成。  
 ※スコアとは、その単語がどれだけ特徴的であるかを表したもので、重みを付けて算出している。

## 総括

本調査の目的は、須賀川市の地域を支える小規模事業者が経営を持続的に行うために、消費者の需要動向を把握することである。消費者の需要動向を把握することで、現状のビジネスモデルが今後も成り立つのかを確認し、必要に応じてビジネスモデルを再構築する。

- (1) 中心市街地の利用状況では、中心市街地を「利用していない」と回答した消費者が過半数以上であり、昨年度と比べても利用状況は低下している。しかし、駐車場などの利便性改善により、「利用したい」と回答した消費者が7割弱であることから、消費者を呼び戻すことは十分可能と考えられる。
- (2) 業態ごとの調査では、総じて価格の安さや利便性等を重視する傾向にあり、昨年度と比べても低価格志向が強まっている。一方で、品質やお店の雰囲気、相談しやすさといった非価格面も消費者が重視していることを見逃してはいけない。
- (3) 地域の小規模事業者にとっては、本調査結果を参考に、商品・サービスやターゲットを改めて明確化し、大型店、チェーン店のとの差別化を行うとともに、継続利用となるリピート顧客を維持、獲得していく必要がある。